

# 環境への取組みと 社会との共生



神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

## ■環境経営基本方針

『グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上』

—— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協同

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

## ■環境家計簿(コベルコ エコライフ ノート)

神戸製鋼グループでは、「環境家計簿(コベルコ エコライフ ノート)」を実施しています。これは、各家庭での電気・ガス・ガソリンなどの使用量をもとに、家庭からのCO<sub>2</sub>排出量を把握することで、従業員自らが省エネルギーなどの必要性を認識し、ライフスタイルの変革に取り組むものです。

CO<sub>2</sub>排出量削減の取組みが急務となっている状況を踏まえ、さらに参加者を増やすべく活動しています。

例えば、2010年4月からは、これまでの記入用紙による参加に加え、インターネットからも参加が可能となるなど、利便性向上に努めています。

インターネットの画面表示例  
(月毎の家庭からのCO<sub>2</sub>発生量が  
表示されている)



## ■石炭灰の有効利用でCJC会長賞を受賞

廃棄物の発生抑制・再使用・再資源化に寄与する優れた技術やシステムを表彰する「資源循環技術・システム表彰」(財団法人・クリーン・ジャパン・センター主催、経済産業省後援)が、2009年10月2日に東京・科学技術館サイエンスホールで行なわれ、当社の「石炭灰の道路用資材としての有効利用」がクリーン・ジャパン・センター会長賞を受賞しました。

神戸製鋼では自家発電設備から発生した石炭灰を、セメント原料や土木用資材の一部としてほぼ全量を有効利用してきましたが、近年の公共工事縮小などに伴うセメント需要の低迷により、その用途の多様化が求められていました。一方で、これまで路盤材として使われてきた天然砕石は、天然資源の温存や環境保護のため、採取規制が厳しくなってきたことから、代替材が望まれていました。そこで、加古川製鉄所では鉄鉱石の事前処理プロセスで培った造粒技術、鉄鋼スラグ製品化プロセスで培った蒸気養生技術など、製鉄技術を応用したフライアッシュペレット(アッシュストーン)を開発し、道路用資材(路盤材)として製品化し2003年から製造を開始しています。

現在までに約50万tのアッシュストーンが路盤材として使用されており、天然資源の保全や採掘に係るエネルギー削減に加え、消費地に近い都市部での製造による運送エネルギーの低減など、循環型社会の構築に大きく貢献している点が高く評価され、今回の表彰となりました。



表彰式の様子

## 社会貢献への取り組み

神戸製鋼グループは、良き企業市民として、地域住民との交流や地域社会への貢献、地域の自然保護などに継続的に取り組んでいます。

### 六甲山の自然保護への取り組み

神戸製鋼の地域交流施設「灘浜サイエンススクエア」では、様々なテーマで開催している「自然教室」の一つとして、六甲山の植物、神戸の自然などに関する講演会を実施しています。参加者が六甲山の自然の豊かさを知ることで、身近な自然への思いを深め、環境意識の向上につなげたいと、開館当初から開催しており、2009年度は、7回の講演に約650名の参加がありました。

また、当社グループのコベルコシステム(株)では、NPO法人「六甲山の自然を学ぼう会」から動植物の解説を受けながら六甲山を歩き、ゴミ拾いの清掃活動を行なう「六甲山クリーンハイク」や、国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所の推進する「森

の世話人」活動に賛同し、社員のボランティアによる森林整備を行なっています。このほかヤマアジサイを挿し木により育成し、六甲山に植え戻す「植樹会」など、六甲山の自然保護に積極的に取り組んでいます。



六甲山の自然をテーマにした講演会



2009年に行なわれた第3回植樹会

## ラグビーを通じての活動

### ラグビーの普及活動

ラグビー普及活動の一環として、神戸製鋼コベルコスティーラーズでは全国各地の幼稚園、小中学校、高校、ラグビースクールを訪問し、ラグビーの楽しさを伝えつつ、技術指導も行なっています。また、部員不足により、大会に出場できないチームを対象とした「全国高等学校合同ラグビーフットボール大会」を2005年より開催しており、ラグビーの普及活動を積極的に行なっています。



ラグビースクール指導の様子

### 募金活動

2001年度より、特定非営利活動法人「日本せきすい基金」への募金活動を行なってきました。2009年8月24日には2008年～2009年シーズンに試合会場やイベントにて集まった寄付金を「Kobelco Steelers基金」と称し、東京都障害者福祉会館にて贈呈いたしました。また、2007年～2008年シーズンにクボタスピアーズと共に新潟県中越沖地震のチャリティーとして「新潟チャリティーTシャツ」を販売した売上金を2009年4月5日に全額寄付しました。この寄付金は新潟県長岡市の長岡陸上競技場に設置するゴールポストの費用として使用されました。